

# 志小安全・防災だより



H31.5.7 No.5  
安全・防災担当:早坂 潤

## 4月21日(日)は、志津川小学校の誕生日でした！

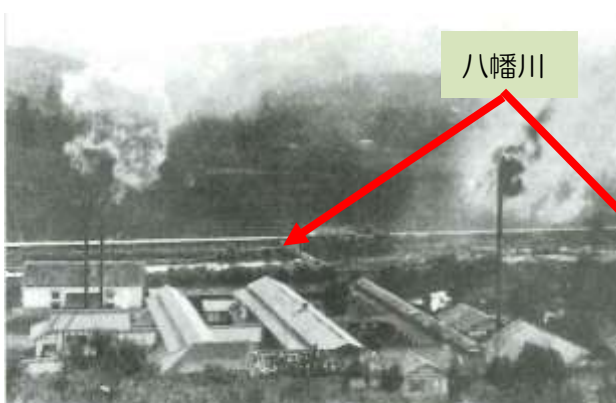


今年の開校記念日で、志津川小学校は146歳を迎えました。22日に行われた朝会で、校長先生より今年で146周年を迎える志津川小学校に関係するクイズが出されました。146年前の初代の校長先生の顔や志津川小学校の校歌を作った人など、子どもたちはクイズを通して自分の学校の歴史について興味をもつことができました。

※ 初代の校長先生のお名前は、浅野道隆先生、校歌の作曲者は、白鳥省吾さんです。

志津川小学校は、明治6年に海円寺というお寺で寺子屋のような形で子どもたちが習い事を行っていたところが始まりと言われています。今も海円寺は残っていますがお寺というよりは、小さな建物に木で作られた看板のようなものに黒い文字で海円寺と書かれており、そこが現在の海円寺となっています。明治9年に校舎が海円寺の丘の上に建てられ、明治19年に志津川尋常高等小学校として新しく校舎が建てられましたが、昭和12年5月4日に大火に襲われ焼失しました。このとき、海の上から小学校が焼け崩れていく様子が見えたそうです。この後、昭和15年に旭製糸工場があった場所（八幡川沿い）に校舎が建てられましたが、昭和35年のチリ地震津波の被害を受け、徐々に校舎がいたんできたために、昭和55年に城場山に現在の小学校が建てられました。

【地域の方のお話より】



八幡川沿いに建てられていた旭製糸工場です。明治33年に志津川産の生糸がパリの万国博覧会で入賞しました。



昭和15年に旭製糸工場の跡地に建てられた、志津川小学校です。現在の小学校よりかなり下の方に建っていました。

## 毎日温かい言葉を掛けていただいております！

中央東地区から階段を登って登校する子どもたちは17名です。昨年よりも人数が減り、さみしくなりました。毎朝地域の方々から温かい言葉を掛けられ、リーダーが中心となり階段を元気に登っていきます。1年生の子どもたちもお兄さん、お姉さんたちと一緒に張り切って登っていきます。

